

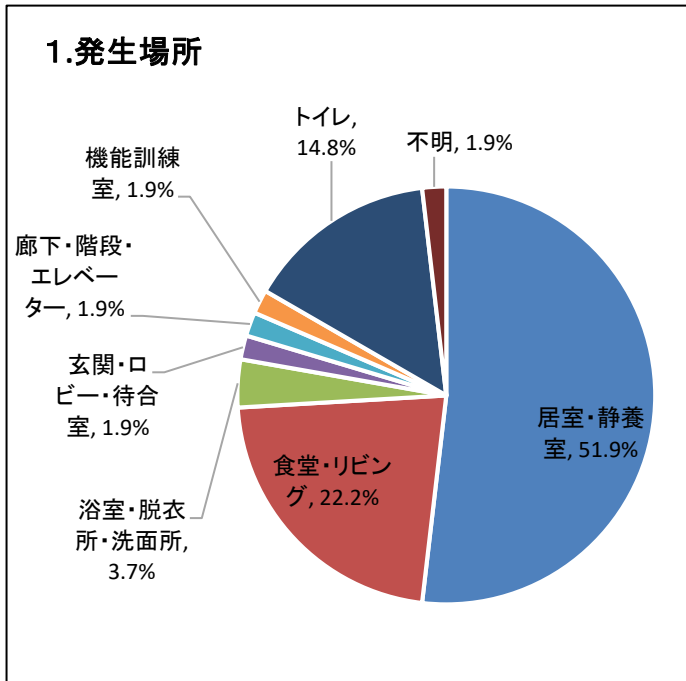
令和2年度事故報告集計結果

菊川長寿介護課介護保険係

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの期間に、菊川市に報告のあった介護サービス事業所、老人福祉施設等における事故報告書の集計結果を公表します。今後の事業運営及び介護事故防止にご活用ください。

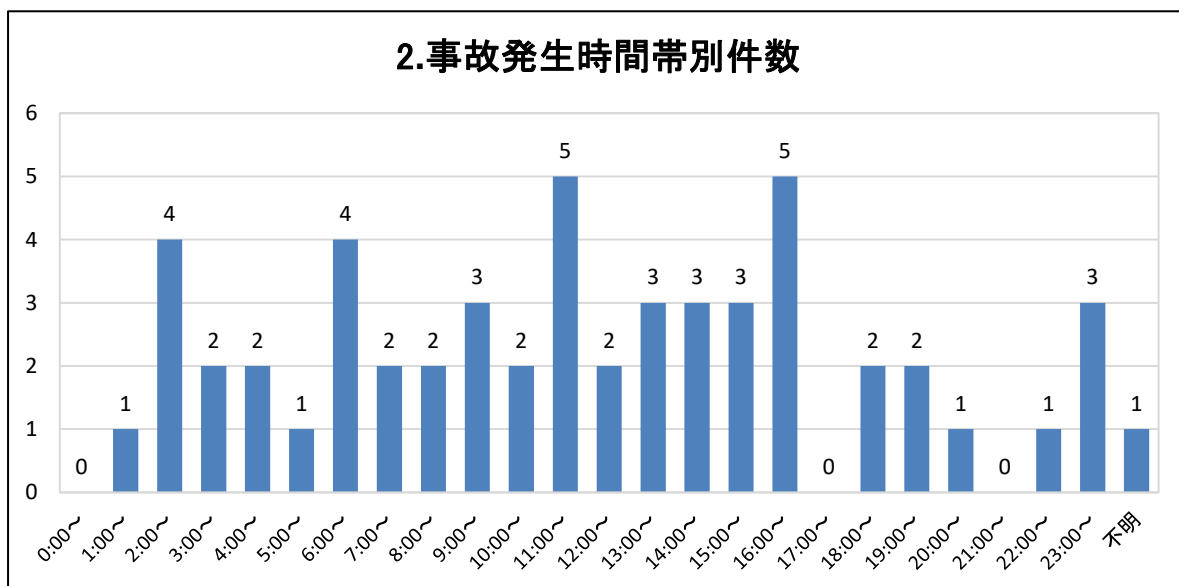
1.発生場所

種別	件数	構成比
居室・静養室	28	51.9%
食堂・リビング	12	22.2%
浴室・脱衣所・洗面所	2	3.7%
玄関・ロビー・待合室	1	1.9%
廊下・階段・エレベーター	1	1.9%
機能訓練室	1	1.9%
トイレ	8	14.8%
不明	1	1.9%
	54	



事故発生件数が最も多い場所は居室・静養室の28件(51.9%)、続いて食堂・リビング12件(22.2%)となっています。

2.事故発生時間帯別件数



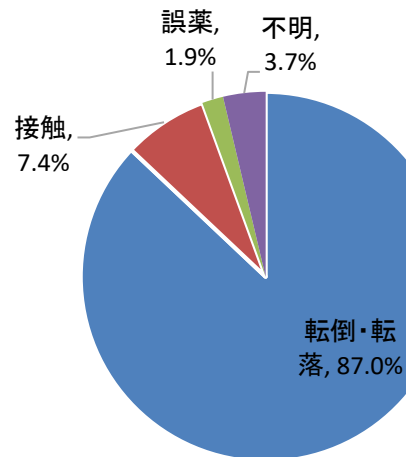
事故発生時間帯は、利用者が活動する11時、16時が最も多く、次いで夜間の2時、早朝の6時となっています。

3.事故種別

種別	件数	構成比
転倒・転落	47	87.0%
接触	4	7.4%
誤薬	1	1.9%
不明	2	3.7%
	54	

事故の内容は、転倒・転落と身体的外傷のおそれがあるものが多くなっています。

3.事故種別

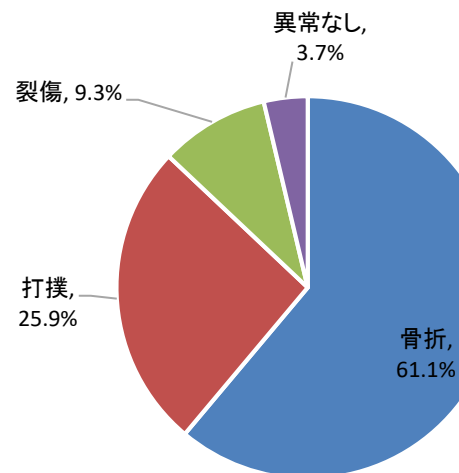


4.事故後の疾患

種別	件数	構成比
骨折	33	61.1%
打撲	14	25.9%
裂傷	5	9.3%
異常なし	2	3.7%
	54	

事故後の疾患で最も多かったものは、骨折の33件(61.1%)、続いて打撲の14件(25.9%)となっています。

4.事故後の疾患



5.再発防止の方策

転倒・転落	<ul style="list-style-type: none"> ・居室内で安全に移動できるよう、ベットやポータブルトイレ等の位置を確認する。 ・不穏時の行動パターンの情報の共有化を迅速に行う。 ・認知症の利用者の部屋移動については、移動前と同じ環境調整を行うことやトイレの位置や変化に伴うリスクを予測して対応していく。 ・理解力のある利用者に対しては、咄嗟に介助するより、一度声掛けをかけて環境を整えてた上で対応する。 ・眠前薬の服用時間の統一を行い、薬の効能が眠気の強い時間帯を限定することにより、転倒のリスクの軽減を図っていく。
接触	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴時、ストレッチャーの外側に肘が出ている利用者が複数いるため、浴槽移動時に肘の位置確認、声掛けを行う。 ・移動、移乗時等に利用者への注意を促し、安全確認を徹底する。
誤薬	<ul style="list-style-type: none"> ・薬に関して疑問に思うことは、他看護師や相談員に確認をして、一人で解決しないようにする。